平成 28 年度　埼玉医科大学保健医療学部

第 20 回

公 開 講 座

参加無料

―腹部超音波実技講習会―

テーマ

「膵臓の描出・観察法の実技研修」

臨床検査学科　准教授　来住野（きしの）　修

日　時

平成 28 年　**9 月 10 日（土）**

15：00～17：00（14：30 開場）

対　象

☆初心者、経験者は問いません。

見えない時はどうしたら良いの？

＜コメント＞癌の中で手術をしても、患者さんの 5 年生存率が悪いのが膵がんと言われております。

生存率を上げるためには、やはり早期診断が必要であると言われています。そこで診断機器の経済性、検査の簡便性からも超音波検査が重要な検査項目とも考えられます。しかしながら昔の教科書などでは、膵臓は見づらい臓器であるとの記載があり、検査する方の中にも膵臓が見えないときは「仕方がない」としてしまう方もいると聞きます。

是非、膵臓の描出・観察方法をもう一度研修してみませんか？

会　場　埼玉医科大学保健医療学部　日高キャンパス（B 棟 2 階実習室）

交　通　バス　八高線「毛呂駅」,東武越生線「東毛呂駅」から　川越観光バス「保健医療学部」下車
八高線「高麗川駅」,西武秩父線「高麗駅」から　国際興業バス「保健医療学部」下車

申込方法　申込書に必要事項を記載し E メールまたは FAX にて 9 月 6 日（火）までにお申込下さい。
先着 10 名を超えた場合、実技ができず見学のみと場合があります。

お申込先　E-mail：kishino@saitama-med.ac.jp　　FAX：042-984-4804

お問合せ　埼玉医科大学保健医療学部　臨床検査学科　公開講座担当　来住野　修
〒350-1241　埼玉県日高市山根 1397-1（日高キャンパス）　TEL：042-984-4801